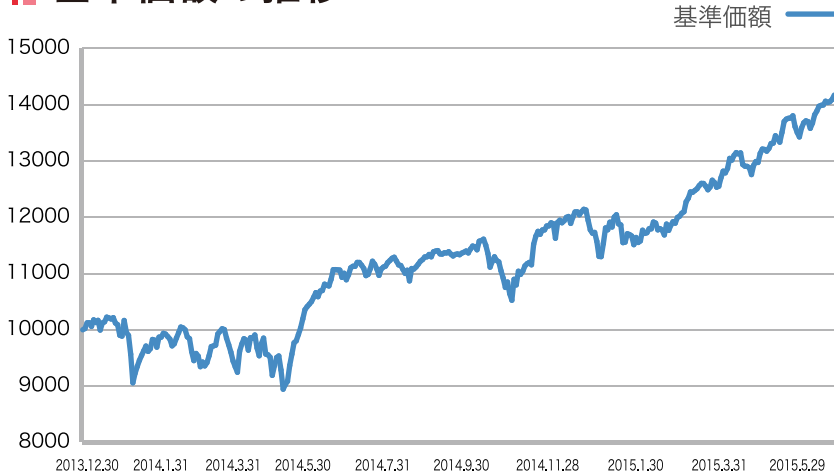




基準日 2015年5月29日付

## 基準価額の推移



## 分配実績

第1期  
(2014年12月18日)

0円

## 基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
4.11%	12.45%	18.07%	39.04%	41.71%

## 運用の特色

### ①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

### ②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

### ③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

## ファンドのデータ

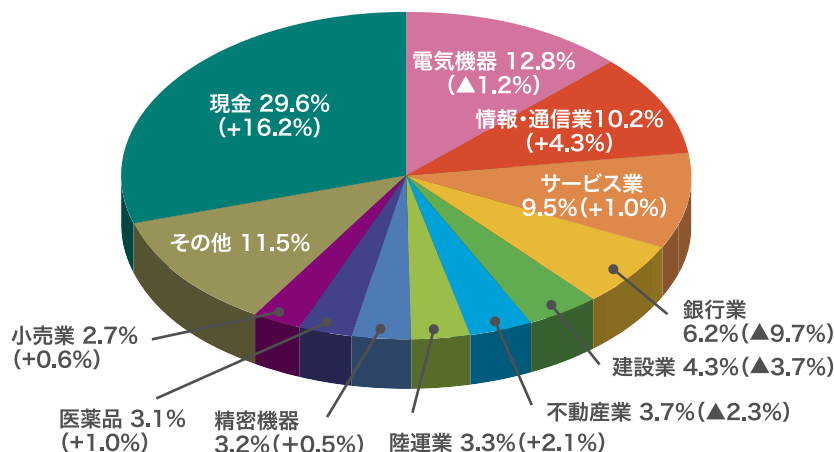
基準価額	14,171円
純資産総額	3,954百万円
受益権総口数	2,790百万口
顧客数	1,162人

## ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

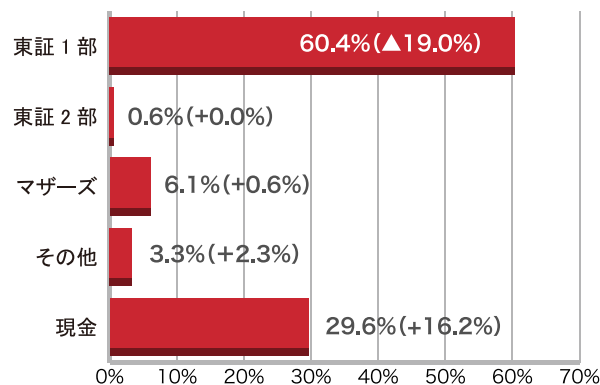
	当月末	前月末比
株式等	70.4%	▲16.2%
現金等	29.6%	+16.2%
構成銘柄	52社	±0社

基準日 2015年5月29日付

## 業種別構成比 ( )内は前月比



## 市場別構成比 ( )内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## 組入上位5銘柄

(2015年4月30日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
三井住友フィナンシャルグループ	東証1部	銀行業	8.5%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	東証1部	銀行業	6.1%
安川電機	東証1部	電気機器	3.9%
三菱重工業	東証1部	機械	3.1%
日立製作所	東証1部	電気機器	3.1%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

## 組入上位5銘柄の紹介

(2015年4月30日現在)

銘柄名[コード]	概要
三井住友フィナンシャルグループ [8316]	3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
三菱UFJフィナンシャル・グループ [8306]	国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
安川電機 [6506]	産業用ロボットとモーションコントロールが主力。2025年ビジョンでは、既存分野で世界シェアNo.1を追求するとともに、創・蓄エネ事業の確立、バイオメディカルやリハビリテーション用ロボットなど生活の質を高める「ヒューマロニクス機器」の市場創造を目指す。
三菱重工業 [7011]	世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
日立製作所 [6501]	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靱な組織になり、収益体質も強化されました。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になります。

## II 市場概況

5月の株式市場は、月初(7日まで)こそ下落したものの、その後は円安を背景にほぼ一本調子で上値を追う展開となり、日経平均は18営業日中16営業日が上昇となり、月間リターンは+5.34%になりました。なお15日～29日にかけては27年ぶりとなる11営業日連続の上昇を記録しました。

詳細は以下の通りです。月初は連休前の持ち高調整やハイテク企業の減益などにより下落、6日のイエレンFRB議長による「米株は割高」という発言などにより連休後も下落となり、日経平均は7日に月間最安値19257円(ザラ場)を付けました。8日発表の米雇用統計が好調となり11日は大きく反発しましたが、その後は欧州長期金利の急上昇や円高傾向などが嫌気され、14日まで横ばいの展開となりました。15日以降は欧米長期金利の落ち着きや、18日のシカゴ連銀理事による利上げ先送り発言、日銀によるETF買い増し期待などから銀行株などに買いが集まり堅調な展開となりました。下旬も一段高となった要因は、22日イエレンFRB議長の「年内利上げが適切」発言によるドルの全面高です。ドル円は124円台に突入、日本株においては円安恩恵を受ける輸送用機器や鉄鋼などの輸出関連銘柄が相場を牽引、日経平均は28日に月間最高値20655円(ザラ場)を付け、月末最終日も上昇したことにより27年ぶりの11営業日(15日～29日)連続上昇となりました。

主な株式指数をリターン順に見ると、東証マザーズ指数(+5.38%)、日経平均株価(+5.34%)、TOPIX(+5.08%)、日経JASDAQ平均(+4.64%)、JASDAQ指数(+2.57%)、東証2部(+2.28%)となりました。TOPIX規模別では、ラージ70(+6.13%)、ミッド400(+4.91%)、コア30(+4.68%)、スモール(+4.05%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、非鉄金属(+12.58%)、電気・ガス業(+11.3%)、機械(+9.11%)でした。同下位3位は、精密機器(▲1.9%)、倉庫・運輸関連業(▲0.11%)、海運業(+0.03%)でした。なお33業種のうち31業種が上昇しています。

## II 運用状況

### ◎5月末のポートフォリオ

株式等組入比率は70.4%(前月末比▲16.2%)に引き下げており、逆にキャッシュ比率は29.6%(同+16.2%)に引き上げています。市場別構成比率では、東証1部60.4%(同▲19.0%)、東証マザーズ6.1%(同+0.6%)などとなっています。業種別では、トップが電気機器12.8%(同▲1.2%)、次いで情報通信10.2%(同+4.3%)、サービス業9.5%(同+1.0%)としました。組入銘柄数は前月末と同様の52銘柄となっています。

### ◎5月の投資行動

5月は米国を中心とする金融政策の動向を特に注視し、株式等組入比率をダイナミックにコントロールしました。月初は85%前後で推移させましたが、日経平均が19300円前後となる7～8日にかけて95%台まで一気に引き上げ、11日から下旬までは概ね98～99%を維持しました。日経平均が月間最高値(ザラ場20655円)を付けた28日、月末となる29日には銀行業(組入比率前月末15.9%→同当月末6.2%)や機械(同4.1%→同0.0%)などの組入比率を大幅に引き下げ、全体の組入比率を70%台としました。

### ◎5月のファンド月間リターン

5月末の基準価額は14171円(4月末13611円)、ファンドの月間リターンは4.11%の上昇となりました。当ファンドのリターンにプラス寄与した主な業種は、銀行業、電気機器、建設業などです。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは5.08%の上昇となっています。当ファンドのリターンがTOPIXを下回った主な要因としては、組入上位としていたサービス業(前月末8.4%→当月末9.5%)のリターンがTOPIXを下回ったことによるものです。

● 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2015年6月4日 運用部長 糸島 孝俊

## メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
5月1日	日経新聞	『「セル・イン・メイ」の5月 日本株は5分5分』で糸島がコメントしました
5月3日	日経ヴェリタス	<a href="#">巻頭特集「1.2兆円流入 子どもNISAが未来開く」で子どもトラストセミナーをご紹介いただきました</a>
5月11日	日経電子版	<a href="#">マネーブログカリスマの直言「中国インフラ銀がもたらした日米の蜜月」と題し渋澤が寄稿しました</a>
5月11日	日経電子版	『株、大幅高も物足りない業績 関心集める株主配分も焦点は「質」へ』で伊井がコメントしました
5月12日	BSジャパン	「Nikkeiモーニングプラス」に糸島が出演しました
5月13日	日経新聞	20面 M&I「教育費高校までは年取で」で子どもトラストセミナーをご紹介いただきました
5月13日	日経DUAL	<a href="#">渋澤健 チェンジメーカーの7つの感情 第5回「夫婦とは、愛の物語を一緒につくるための存在」が掲載されました</a>
5月15日	日経電子版	<a href="#">『株、波乱の5月?「達人」が目をつける次の投資先』で糸島がコメントしました</a>
5月15日	日経電子版	<a href="#">『株主還元強化は進んだか 市場関係者の見方』で糸島がコメントしました</a>
5月21日	日経新聞	18面スクランブル 「ニッチトップ買い進む」で糸島がコメントしました
5月22日	日経新聞	18面スクランブル 「電機株 ITバブル迫る」で糸島がコメントしました
5月22日	BSジャパン	「日経プラス10」に糸島が出演しました
5月25日	日経電子版	<a href="#">マネー底流潮流「堅調相場の支えか 郵政上場の思惑」で伊井がコメントしました</a>
5月27日	日経新聞	<a href="#">2面『真相深層 新規上場「質より量」で緩み』で糸島がコメントしました</a>

## セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
30才からの“はじめてのコモンズ” (旧 はじめてのコモンズ～投資ビギナーズ編) (お子様連れ可)	6月12日(金)	10:30～12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	6月23日(火)	13:30～15:00	
	7月10日(金)	13:30～15:00	
30才からの“はじめてのコモンズ” (旧 はじめてのコモンズ)	6月10日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	7月22日(水)		
60才からの“はじめてのコモンズ” (旧 はじめてのコモンズ)	7月31日(金)	13:30～15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
「コモンズ30ファンド」「ザ・2020ビジョン」 ファンド説明会	6月13日(土)	10:00～12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	7月11日(土)	14:00～16:00	
コモンズ30塾『女性の活躍セミナー』 コモンズ30ファンド投資先企業【掘場製作所】から学ぶ	6月19日(金)	19:00～21:00	大阪府立男女共同参画・ 青少年センター(ドーンセンター)
渋澤健と考える 「自分の手元から始める豊かな未来への投資」	7月15日(水)	18:30～20:30	富山県富山市(富山県民会館)
「ザ・2020ビジョン」 ファンド説明&運用報告会	7月17日(金)	19:00～20:45	北海道札幌市 (わくわくホリデーホール(札幌市民ホール))
	7月18日(土)	10:00～12:00	東京都品川区 (ぎゅりあん(品川区総合区民会館))
	7月18日(土)	19:00～21:15	大阪府大阪市 (大阪総合生涯学習センター)
	7月19日(日)	10:00～12:00	愛知県名古屋 (ウイングあいち)
	7月19日(日)	19:00～21:15	東京都中央区 (TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターにお願いいたします。  
<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

## ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

### お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)

**03-3221-8730**

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階